

〈令和7年〉

10月 都立多摩図書館 イベントガイド

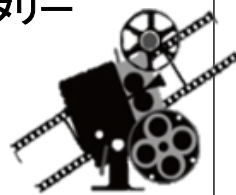
〈開館時間〉 月～金 10:00～21:00
土・日・祝 10:00～17:30
〈10月の休館日〉 2日(木), 17日(金)

都立多摩図書館10月定例映画会

日時	第一回 上映作品 (カラー / 計 67分)
10/5 (日) 14:00～	タヌキやキツネが登場する 秋にちなんだアニメ等 ①『こぎつねのおくりもの』 ②『たぬきの糸車』 ③『おこんじょうり』

各回 定員100名
(先着順・入場無料)
会場 2階セミナールーム

日時	第二回 上映作品 (カラー / 計 98分)
10/16 (木) 14:00～	「日本の文化と芸術」を テーマとしたドキュメンタリー ①『仮名手本忠臣蔵』 ②『浮世絵と歌川広重』 ③『附子 狂言のおもしろさ』 ④『文楽への誘い』



・ミニ展示

【1階 展示エリア】

時刻表でめぐる列車の旅

(11月10日(月)まで)

—『JTB時刻表』創刊100年—



都立多摩図書館が力を入れて収集している鉄道関連雑誌のなかで、JTB刊行の『時刻表』が創刊100年を迎えました。これを機に、バリエーション豊富な『時刻表』のあれこれを集めてみました。「時刻表をめぐる図書と雑誌記事」「時刻表ミステリー」のコーナーも設けています。

【1階 展示ウォール】

・ウォール展示

『鉄道ジャーナル』の軌跡

(11月10日(月)まで)

日本の「三大鉄道誌」の一つと称されてきた『鉄道ジャーナル』が、今年の6月で惜しまれつつ休刊しました。長年、鉄道雑誌界を牽引してきた同誌の軌跡を、各年代の表紙で振り返る展示です。ミニ展示とあわせてお楽しみください。

開催中の
展示

journal



【1階 こどものへや】

「あるかもしれないおはなし会」

毎週火曜日の10:30～
参加者がいれば、あるかもしれない
おはなし会です。
申込不要。
えほんのこべやにお越しください。



・ミニ展示

『東京2025デフリンピック』

11/15から11/26まで日本で初めてデフリンピックが開催されます。デフリンピックや聴覚障害の人の生活に関する本を展示しています。クイズにこたえてプレゼントをゲットしよう！

(10月3日(金)から
11月10日(月)まで)



【1階新聞架裏】

・ミニ展示

東京2025デフリンピック —雑誌でたどる100年—

「東京2025デフリンピック」が令和7年11月15日から26日にかけて日本で初開催されます。100周年を迎える本大会に合わせ、本大会や過去大会の特集記事が掲載された雑誌を中心に、聴覚障害や手話についての雑誌も展示します。また、来場者参加型の企画も実施予定です。ぜひご参加ください。

【1階 青少年エリア】

・ミニ展示『推し活は健全に』

節度を持った推し活をしたいあなたに。
行動経済学の観点から推し活について述べられている本など。

・ミニ展示『図書館の本』

(10月3日(金)から
12月3日(水)まで)

図書館にまつわる様々な本を集めました。
こんな歴史があったんだ！こんな図書館に行ってみたい！など、
図書館について新しい発見ができるかも。
(11月5日(水)まで)

・TAMA selection plus 『言語・ことば』

「ことば」で私たちは誰かとコミュニケーションを図ることができます。世界にはたくさんの「ことば」があります。声や文字以外のものもあるし、動物や機械にもあるのかもしれません。あなたが新しい「ことば」を知ることは、新しい世界とつながるきっかけになるのかもしれません。
(12月3日(水)まで)



都立
図書館
HP



都立図書館
facebook
アカウント名
tmlibrary



エフエムたちかわ(84.4fm)でイベント情報発信中！
毎月第4水曜 午後1時30分 情報番組「ブレッセ」
PCやスマホで ListenRadio等から聴くことができます。

